

總 目 次

公研セミナー

公研セミナー

総
目
次

公研セミナー

1963年9月・10月	正田 樊	独禁法と国際競争力
1964年1月	宮下 武平	新産業秩序と体制金融
1964年2月	金沢 良雄	物価規制について
1964年3月	大熊 一郎	物価構造について
1964年4月	滝田 実	物価と賃金
1964年5月	下村 治	日本経済の成長力
1964年6月	篠原 三代平	転型期の核心を掴む
1964年7月	鈴木 秀雄	外資流入の姿勢
1964年8月	中村 孝士	倍増中期手直しの問題点
1964年9月	木村 祐八郎	開放体制下の景気循環
1964年10月	神野 正雄	長期経済政策への提唱
1964年11月	大来佐 武郎	国際流動性と日本経済
1964年12月	磯村 英一	世界景気の動向
1965年1月	庄司竜一郎	地域開発の方向性
1965年2月	竹中 喜満太	日本の産業集中の実態と方向
1965年3月	坂本二郎・中野拙三	経済成長と人間尊重
1965年4月	伊藤 長生	「利潤」について
1965年5月	三木 邦男	国際通貨の展望と日本経済
1965年6月	佐橋 滋	今後の産業政策と日本経済
1965年7月	鈴木 治雄	経営について
1965年8月	前川 憲一	不況の中の財政の方向
1965年9月	森 久雄	「新経済白書」と景気判断
1965年10月	堀越 穎三	財界は公債をどう考える
1965年11月	宍戸 駿太郎	不況後の日本経済の新ビジョン
1965年12月	木内 守篤	企業体質をこう考える
1966年1月	大河内 一男	不安に答える
1966年2月	小坂徳三郎	景気短期見通し
1966年3月	両角 良彦	マンパワーと日本経済への要望
1966年4月	竹内 一郎	経済を持つ歩こう
1966年5月	井深 梶浦	今後の産業体制と政府企業間の矛盾
1966年6月	英夫 大	最近の設備投資の動向
1966年7月	長	企業における研究開発と経済成長

1967年1月	西島 芳二	宮崎 義一	宮崎 寿雄	アメリカ経済はどう動く
1967年2月	内田 忠夫	新潟 典文	熊谷 綱雄	資本自由化と企業再編成
1967年3月	北野 重雄	山本 重信	奥村 義一	日本経済の新局面と産業政策
1967年4月	谷村裕・小島英敏	山本 重信	熊谷 綱雄	資本自由化と国際競争力
1967年5月	青葉 翰於	小島英敏	奥村 義一	政府と企業
1967年6月	土屋 清	山本 重信	熊谷 綱雄	政府と企業
1967年7月	田中 角栄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1967年8月	宮崎 勇	山本 重信	熊谷 綱雄	政治はどこで動く
1967年9月	大木 穆彦	小島英敏	奥村 義一	42年度の経済と新経済計画
1967年10月	外山 茂	山本 重信	熊谷 綱雄	経済成長と「物価」
1967年11月	村上 孝太郎	小島英敏	奥村 義一	資本自由化と「産業体制」
1967年12月	辻村江太郎	山本 重信	熊谷 綱雄	「西欧における産業体制の近代化について
1968年1月	堀江 薫雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年2月	川又 克二	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1968年3月	宮沢 鉄藏	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年4月	橋本 清	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1968年5月	大慈恵嘉久	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年6月	翠川 鉄雄	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1968年7月	牛場信彦・田中洋之助	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年8月	得二 陽介	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1968年9月	八塚 得二	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年10月	池内 得二	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1968年11月	星埜 陽介	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1968年12月	川島 博	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1969年1月	北川 一榮	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1969年2月	今井 勇	山本 重信	熊谷 綱雄	新しい経済の方向
1970年1月	武田 信夫	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年2月	牧野 智雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年3月	村上 正利	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年4月	藤井立・八幡輝雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年5月	後藤 達郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年6月	松本 傑一	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年7月	藤井立・八幡輝雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年8月	武田 信夫	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年9月	矢野 智雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年10月	小倉 武一	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年11月	細見 隆	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1970年12月	伊原 尚夫	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年1月	江森 盛久	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年2月	江森 盛久	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年3月	江森 盛久	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年5月	徳永 久次	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年6月	松本 傑一	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年7月	藤井立・八幡輝雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年8月	鶴見 宏	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年9月	嘉治 元郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年10月	芦矢栄之助	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年11月	藤井立・八幡輝雄	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1971年12月	山中 宏	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1972年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1973年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1973年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1973年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1973年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい経済の方向
1973年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1973年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1974年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1975年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1976年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1977年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1978年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1979年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1980年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年7月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年8月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年9月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年10月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年11月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1981年12月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年1月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年2月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年3月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年4月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年5月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年6月	鳩山威一郎	小島英敏	奥村 義一	新しい絏済の方向
1982年7				

1988年4月	赤羽 隆夫	六十三年の景気見通し — シヤーロ・キヤン景気探偵はこうみる	7月	G・S・フクシマ
5月	高橋 進	建設行政の諸問題	8月	長瀬 要石
6月	黒田眞／J・C・アヘグレン	— 市場参入問題を含めて	9月	日本の大國五カ年計画の七つのボイント
7月	星野 進保	日米通商摩擦の行方	10月	松浦晃一郎
8月	牛尾 治朗	経済運営五カ年計画のポイント	11月	佐和隆光
9月	岡崎 久彦	国際化時代の企業経営	12月	青井舒一
10月	鎌田 吉郎	日米関係の再構築と外交課題	1月	富原俊二
11月	J・ホワイトヘッド	これからの中東エネルギー政策と原子力	2月	涌井 洋治
12月	黒沢 洋	六十三年の日米関係を考える	3月	久米 豊
1989年1月	黒沢 嘉恭	二十一世紀へ向けての企業活性化	4月	牟田口義郎・鴨彌彦
2月	黒沢 恭助	— EC統合問題を含めて	5月	佐藤 紹明
3月	進藤 貞和	内外金融情勢と景気見通し	6月	安原 正
4月	杉山 弘	89年のアメリカ経済と日米関係	7月	棚橋 祐治
5月	J・キヤッショーマン	89年度予算のポイント	8月	牟田口義郎・鴨彌彦
6月	亀井 正夫	二十一世紀へ向けての企業活性化	9月	三谷 浩
7月	A・ファンアフト	化と人材活用	10月	島田 晴雄
8月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	11月	千野 忠男
9月	内海 孝	内外金融情勢と通貨	12月	橋口 収
10月	田中 信行	内外金融情勢と通貨	1月	棚橋 祐治
11月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
12月	田中 舜一・菅直人	内外金融情勢と通貨	3月	飯塚 恭助
1990年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	4月	1991年1月
2月	武藤 敏郎	内外金融情勢と通貨	2月	涌井 洋治
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	久米 豊
4月	行天 豊雄	内外金融情勢と通貨	4月	松浦晃一郎
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	島田 晴雄
6月	L・A・チヨーラフ	内外金融情勢と通貨	6月	千野 忠男
7月	山本 雅司	— EC統合問題を含めて	7月	棚橋 祐治
8月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	8月	稻葉 興作
9月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1991年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1992年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	涌井 俊二
6月	L・A・チヨーラフ	— EC統合問題を含めて	6月	牟田口義郎・鴨彌彦
7月	山本 雅司	— EC統合問題を含めて	7月	橋口 収
8月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	8月	稻葉 興作
9月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1992年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1993年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	涌井 俊二
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	松浦晃一郎
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	佐和隆光
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	青井舒一
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	松浦晃一郎
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	富原俊二
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	佐和隆光
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	青井舒一
1993年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	松浦晃一郎
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	涌井 俊二
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	久米 豊
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	牟田口義郎・鴨彌彦
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	三谷 浩
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	島田 晴雄
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	千野 忠男
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	棚橋 祐治
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	稻葉 興作
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	牟田口義郎・鴨彌彦
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	橋口 収
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	石 弘光
1994年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	飯塚 恭助
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	涌井 俊二
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	牟田口義郎・鴨彌彦
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1995年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1995年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1996年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1996年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1997年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1997年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1998年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1998年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1999年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1999年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	2000年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
2000年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1995年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を含めて	7月	牟田口義郎・鴨彌彦
8月	内海 孝	— EC統合問題を含めて	8月	久米 豊
9月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	9月	牟田口義郎・鴨彌彦
10月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	10月	三谷 浩
11月	田中 信行	— EC統合問題を含めて	11月	島田 晴雄
12月	寺村 整輝	— EC統合問題を含めて	12月	千野 忠男
1995年1月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	1月	棚橋 祐治
2月	武藤 敏郎	— EC統合問題を含めて	2月	石 弘光
3月	武富 將	— EC統合問題を含めて	3月	飯塚 恭助
4月	行天 豊雄	— EC統合問題を含めて	4月	1996年1月
5月	佐波 正一	— EC統合問題を含めて	5月	水谷研治・吉田春樹
6月	児玉 幸治	— EC統合問題を含めて	6月	稻葉 興作
7月	水谷研治・吉田春樹	— EC統合問題を		

2002年8月	中嶋嶺雄	中国とのつきあい方を再考する
9月	伊藤元重	「瀋陽事件後の日中関係
10月	塙崎恭久	日本経済の活性化
11月	村上陽一郎	政治の責任
12月	伊豆見元	「小泉改革と日本外交
2003年1月	嶋中雄二	日本訪朝と日朝関係の今後
2月	牧野治郎	日本の科学・技術の光と影
3月	坂村健	「ノーベル賞連続受賞の評価と
4月	吉川洋	景気の現状と展望
2010年4月	竹森俊平	「小泉内閣の経済政策をどう考
5月	澤昭裕	える
6月	塙川正十郎	平成十五年度予算のポイント
7月	猪木武徳	「小泉の科学・技術の光と影
8月	北岡伸一	日本経済の活性化
9月	枝野秀雄	政治の責任
10月	杉本和行	「小泉改革と日本外交
11月	重村智計	日本訪朝と日朝関係の今後
12月	溝口善兵衛	日本の科学・技術の光と影
2011年1月	船橋洋一	「ノーベル賞連続受賞の評価と
2月	田中重村	景気の現状と展望
3月	山折哲雄	「小泉内閣の経済政策をどう考
4月	齊藤精一郎	える
5月	北川正恭	平成十五年度予算のポイント
6月	猪瀬直樹	「小泉の科学・技術の光と影
7月	牧野治郎	日本経済の活性化
8月	坂村健	政治の責任
9月	吉川洋	「小泉改革と日本外交
2004年1月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
2月	猪口弘光	日本の科学・技術の光と影
3月	野中広務	日本経済の活性化
4月	枝野幸男	政治の責任
5月	酒井啓子	「小泉改革と日本外交
6月	前田又兵衛	日本訪朝と日朝関係の今後
7月	内藤正久	日本の科学・技術の光と影
8月	矢吹邦子	日本経済の活性化
9月	塙川正十郎	政治の責任
10月	佐々木毅	「小泉改革と日本外交
2005年1月	岩井克人	中国とのつきあい方を再考する
2月	寺島実郎	「瀋陽事件後の日中関係
3月	溝口善兵衛	日本経済の活性化
4月	松元崇	政治の責任
5月	浅野正和	「小泉改革と日本外交
6月	小島寿光	日本訪朝と日朝関係の今後
7月	岩井克人	日本の科学・技術の光と影
8月	寺島実郎	日本経済の活性化
9月	溝口善兵衛	政治の責任
10月	岩井克人	「小泉改革と日本外交
2006年1月	岩井克人	中国とのつきあい方を再考する
2月	寺島実郎	「瀋陽事件後の日中関係
3月	溝口善兵衛	日本経済の活性化
4月	松元崇	政治の責任
5月	浅野正和	「小泉改革と日本外交
6月	小島寿光	日本訪朝と日朝関係の今後
7月	岩井克人	日本の科学・技術の光と影
8月	寺島実郎	日本経済の活性化
9月	溝口善兵衛	政治の責任
10月	岩井克人	「小泉改革と日本外交
2007年1月	小平信因	中国とのつきあい方を再考する
2月	岩見隆夫	「瀋陽事件後の日中関係
3月	浜野直人	日本の科学・技術の光と影
4月	鈴木正規	日本経済の活性化
5月	十市均	政治の責任
6月	岩田勉	「小泉改革と日本外交
7月	鈴木正規	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	岩田勉	日本の科学・技術の光と影
9月	浜野直人	日本経済の活性化
10月	小平信因	政治の責任
2008年1月	木下康司	「小泉改革と日本外交
2月	木下和夫	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	渡辺利夫	日本の科学・技術の光と影
4月	水野和夫	日本経済の活性化
5月	塙川正十郎	政治の責任
6月	小川和久	「小泉改革と日本外交
7月	塙川正十郎	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	木下康司	日本の科学・技術の光と影
9月	渡辺利夫	日本経済の活性化
10月	木下和夫	政治の責任
2009年1月	寺島滋	「瀋陽事件後の日中関係
2月	齊藤紀彦	日本の科学・技術の光と影
3月	押谷仁	日本経済の活性化
4月	片山善博	政治の責任
5月	橋本東彦	「小泉改革と日本外交
6月	黒田晴文	日本訪朝と日朝関係の今後
7月	黒田晴文	日本の科学・技術の光と影
8月	片山善博	日本経済の活性化
9月	寺島滋	政治の責任
10月	齊藤紀彦	「小泉改革と日本外交
2010年1月	太田充	中国とのつきあい方を再考する
2月	太田充	「瀋陽事件後の日中関係
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
11月	稻垣光隆	「小泉改革と日本外交
2011年1月	太田充	中国とのつきあい方を再考する
2月	太田充	「瀋陽事件後の日中関係
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2012年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2013年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2014年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2015年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2016年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任
2017年1月	太田充	「小泉改革と日本外交
2月	太田充	日本訪朝と日朝関係の今後
3月	若田部昌澄	日本の科学・技術の光と影
4月	細田博之	日本経済の活性化
5月	池内恵	政治の責任
6月	鈴木琢磨	「小泉改革と日本外交
7月	佐々木毅	日本訪朝と日朝関係の今後
8月	稻垣光隆	日本の科学・技術の光と影
9月	孫崎浩	日本経済の活性化
10月	稻垣光隆	政治の責任

2025年5月	白石 隆	トランプ時代の外交政策
6月	海輪 誠	－アジア太平洋地域を中心に欧州複合危機とその世界的含意
7月	遠藤 乾	（東日本大震災を乗り越えて）LNGの今後とJERAの役割
8月	加藤 祐二	安倍長期政権の行方
9月	垣見 清隆	－日本周辺で何が起こっているか？野生の思考と未来の人材育成
10月	浅川 雅嗣	－欧州金融情勢と世界経済のゆくえ
11月	川島 嘉光	（東日本大震災を乗り越えて）LNGの今後とJERAの役割
12月	小林 壽一	－日本周辺で何が起こっているか？
2024年1月	柳瀬 唯夫	－日本周辺で何が起こっているか？
2月	岡本 浩	－欧州複合危機とその世界的含意
3月	中山 俊宏	－安倍長期政権の行方
4月	森 英介	－日本周辺で何が起こっているか？
5月	平岩 俊司	－日本周辺で何が起こっているか？
6月	森 加藤 出	－日本周辺で何が起こっているか？
7月	大隅 良典	－日本周辺で何が起こっているか？
8月	岩並 岩上	－日本周辺で何が起こっているか？
9月	大隅 良典	－日本周辺で何が起こっているか？
10月	兼原 信克	－日本周辺で何が起こっているか？
11月	津上 俊哉	－日本周辺で何が起こっているか？
12月	阪田 涉	－日本周辺で何が起こっているか？
2019年1月	小野寺五典	－日本の進むべき道
2月	坂本 基	－日本の進むべき道
3月	姉川 尚史	－日本の進むべき道
4月	竹内 芳明	－日本の進むべき道
5月	竹村公太郎	－日本の進むべき道
6月	奥田 久榮	－日本の進むべき道
7月	宮本 雄二	－日本の進むべき道
8月	鈴木 敦夫	－日本の進むべき道
9月	渡辺 努	－日本の進むべき道
10月	神田 真人	－日本の進むべき道
11月	高市 遠藤	－日本の進むべき道
12月	木下 影広	－日本の進むべき道
2020年1月	橋本 裕	－日本の進むべき道
2月	甘利 明	－日本の進むべき道
3月	林 宗像	－日本の進むべき道
4月	市川 恵一	－日本の進むべき道
5月	木村 昌人	－日本の進むべき道
6月	鈴木 一人	－日本の進むべき道
7月	黒田 東彦	－日本の進むべき道
8月	玉木雄一郎	－日本の進むべき道
9月	林 伴子	－日本の進むべき道
10月	沙川 貴大	－日本の進むべき道
11月	鈴木 謙一	－日本の進むべき道
12月	大隅 良典	－日本の進むべき道
2021年1月	橋本 裕	－日本の進むべき道
2月	渡辺 安虎	－日本の進むべき道
3月	田中 淳	－日本の進むべき道
4月	清水 真人	－日本の進むべき道
5月	谷内正太郎	－日本の進むべき道
6月	金子 賴則	－日本の進むべき道
7月	吉崎 達彦	－日本の進むべき道
8月	高見澤将林	－日本の進むべき道
9月	田中 淳	－日本の進むべき道
10月	渡辺 安虎	－日本の進むべき道
11月	渡辺 安虎	－日本の進むべき道
12月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
2022年1月	坂本 基	－日本の進むべき道
2月	坂本 基	－日本の進むべき道
3月	北村 聰	－日本の進むべき道
4月	藤井 宏	－日本の進むべき道
5月	大栗 博司	－日本の進むべき道
6月	田和 滋	－日本の進むべき道
7月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
8月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
9月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
10月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
11月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
12月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
2023年1月	坂本 基	－日本の進むべき道
2月	坂本 基	－日本の進むべき道
3月	藤塚 真也	－日本の進むべき道
4月	藤井 宏	－日本の進むべき道
5月	田和 滋	－日本の進むべき道
6月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
7月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
8月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
9月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
10月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
11月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
12月	寺澤 達也	－日本の進むべき道
2024年1月	坂本 基	－日本の進むべき道
2月	坂本 基	－日本の進むべき道
3月	坂本 基	－日本の進むべき道
4月	坂本 基	－日本の進むべき道
5月	坂本 基	－日本の進むべき道
6月	坂本 基	－日本の進むべき道
7月	坂本 基	－日本の進むべき道
8月	坂本 基	－日本の進むべき道
9月	坂本 基	－日本の進むべき道
10月	坂本 基	－日本の進むべき道
11月	坂本 基	－日本の進むべき道
12月	坂本 基	－日本の進むべき道
2025年1月	坂本 基	－日本の進むべき道
2月	坂本 基	－日本の進むべき道
3月	坂本 基	－日本の進むべき道
4月	坂本 基	－日本の進むべき道
5月	坂本 基	－日本の進むべき道
6月	坂本 基	－日本の進むべき道
7月	坂本 基	－日本の進むべき道
8月	坂本 基	－日本の進むべき道
9月	坂本 基	－日本の進むべき道
10月	坂本 基	－日本の進むべき道
11月	坂本 基	－日本の進むべき道
12月	坂本 基	－日本の進むべき道

1990年8月 江田 五月	「人生模様」を映す政治をめざして……
9月 日下部悦二	「陽が昇るから、夜が明ける」道と「それから」で決断した政界入り
10月 中尾 武	「鉛筆を倒して決めた電気の道と『対話』が新しい価値を生む」
11月 中川 志郎	「人格・徳性を『ラシュアップ』した予科の『無監督テスト』」
12月 西岡 常一	「いま生命の大切さを知る」
1991年1月 龍野 富雄	「動物と生きた四十年、自然との共存の夢を追う」
2月 永倉 三郎	木のいのち、木のこころ
3月 相川賢太郎	「宮大工六十年、飛鳥の知恵で今、薬師寺伽藍再建に挑む」
4月 岡田 節人	「戦後復興の木勘忍しや」
5月 中尾 佐助	「地獄と天国、和顔愛語」で、戦後復興の木勘忍しや
6月 三宅 和助	「生き物は方圓の器に従う」
7月 佐々木秀典	「実験好きの文学青年が迷い込んだ、絶妙な細胞の世界」
8月 加藤 紘一	「記者志望が電力へ、勧誘や用地交渉に奔走した若き命の日々」
9月 阿部 謙也	「人生感想、巧名誰復論」
10月 日高 敏隆	「つまらない仕事を誠実に早くやつて、揃んだ最後の勝利」
1994年4月 山田 太一	「もぐら」の如く生きて……
5月 加藤一二三	「外務省の異端児」が歩いた「一眼同仁」
6月 行天 豊雄	「民主主義の理念を求めて歩む親父と、『違う道』」
7月 江尻宏一郎	「絵柄のないドラマ」の世界へ
8月 堀田 力	「現代の深奥に中世がある」
9月 田村 元	「修道院体験からヨーロッパ社会史の研究へ」
10月 亀谷 了	「アジア、中東の裏側」
11月 石田 芳夫	「芸術的感動に通じる妙手の発見」
12月 萱野 茂	「特捜検事から転身、高齢者福祉の世界へ」
1995年1月 金森 久雄	「忠実に、庶民感覚を持ち続けて……」
2月 隅谷三喜男	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
3月 大田 堯	「人生をやつて、『性善説』になつた」
4月 増井 光子	「年次の政界秘話」
5月 褐田 茂樹	「野生動物研究に取り組む女性園長奮闘記」
9月 矢口 高雄	「砂の社会」で見つけた文化的アリティー
8月 中村 隆英	「父の縁でロシア研究の道へ」
1996年1月 桜井徳太郎	日本文化の基層を求めて……
2月 吉井 淳二	「師・柳田国男を超えて東アジア比較民俗学に挑戦」
3月 猿谷 要	「根底にはいつも数学的思考が：」
4月 竹内 宏	「戦中に特殊兵器づくり、いま環境保全に尽力」
5月 秋葉 忠利	「タフ・ネゴシエーター」と呼ばれて……」
6月 秋岡 芳夫	「いつも同じことをやつてきた」
7月 吉井 淳二	「通商摩擦の最前線で見えた日米交渉の内側」
8月 黒田 真	「新聞記者、原子力、大使、いろいろやつたけれども」
9月 谷 正雄	「事に臨みて懼れ謀を好んでなす」
10月 村井 資長	「登山で学んだ危機管理を経営に活かす」
11月 内藤 國雄	「砂漠緑化にかける86歳の『生涯現役』」
12月 佐原 真	「伸び伸びじみじみ」と生きる「将棋も歌も『自在流』」の人生
1997年1月 江戸家猫八	「紹介人にはわれわれより崇高な心があつた」
2月 吉永 祐介	「考古少年を魅了した土器の紋様」
3月 牧 冬彦	「文化の起源『のれん』」
4月 牧 冬彦	「被爆体験を越えて貰いた芸の道」
5月 柳家小さん	「庶民派エコノミストの原点」
6月 北岡 隆	「過去・現在・未来への責任」
7月 新藤 兼人	「絵を描き続けて、九十三歳」
8月 増原 和郎	「『プラス』の可能性を追う『のれん』」
9月 川那部浩哉	「路地裏」にこそ経済はある
10月 森下 洋一	「庶民派エコノミストの原点」
11月 高野 悅子	「人生の転機に『路地裏』」
12月 網野 善彦	「人生の転機に『路地裏』」
1992年1月 猪木 正道	「人生模様」を映す政治をめざして……
2月 稲葉三千男	「人生模様」を映す政治をめざして……
3月 玉川 敏雄	「木のいのち、木のこころ」
4月 左藤 恵	「宮大工六十年、飛鳥の知恵で今、薬師寺伽藍再建に挑む」
5月 西岡 武夫	「戦後復興の木勘忍しや」
6月 アリフィン・ベイ	「生き物は方圓の器に従う」
7月 井之口章次	「もぐら」の如く生きて……
8月 大森 安恵	「外務省の異端児」が歩いた「一眼同仁」
9月 岡野加穂留	「民主主義の理念を求めて歩む親父と、『違う道』」
10月 秋山 富一	「絵柄のないドラマ」の世界へ
11月 横原 稔	「現代の深奥に中世がある」
12月 今井 隆吉	「修道院体験からヨーロッパ社会史の研究へ」
1993年1月 上山 保彦	「アジア、中東の裏側」
2月 黒田 真	「芸術的感動に通じる妙手の発見」
3月 近藤 次郎	「特捜検事から転身、高齢者福祉の世界へ」
4月 村井 資長	「忠実に、庶民感覚を持ち続けて……」
5月 横原 稔	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
6月 桜井徳太郎	「人生をやつて、『性善説』になつた」
7月 黒田 真	「年次の政界秘話」
8月 黒田 真	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
9月 谷 正雄	「人生をやつて、『性善説』になつた」
10月 村井 資長	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
11月 横原 稔	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
12月 今井 隆吉	「父の助言で三井物産へ、鉄鋼一筋の『貿易人生』」
1994年1月 宇澤 弘文	「人生をやつて、『性善説』になつた」
2月 山下 勇	「人生をやつて、『性善説』になつた」
3月 篠原 一	「人生をやつて、『性善説』になつた」
4月 岩村 昇	「人生をやつて、『性善説』になつた」
5月 寺澤 芳男	「人生をやつて、『性善説』になつた」
6月 國弘 正雄	「人生をやつて、『性善説』になつた」
7月 林 海峯	「人生をやつて、『性善説』になつた」
8月 中江 要介	「人生をやつて、『性善説』になつた」
9月 寺澤 芳男	「人生をやつて、『性善説』になつた」
10月 上原 康助	「人生をやつて、『性善説』になつた」
11月 齋藤 裕	「人生をやつて、『性善説』になつた」
12月 岩村 昇	「人生をやつて、『性善説』になつた」
1995年1月 矢口 高雄	「人生をやつて、『性善説』になつた」
2月 稲葉三千男	「人生をやつて、『性善説』になつた」
3月 玉川 敏雄	「人生をやつて、『性善説』になつた」
4月 西岡 武夫	「人生をやつて、『性善説』になつた」
5月 松谷健一郎	「人生をやつて、『性善説』になつた」
6月 西澤 潤一	「人生をやつて、『性善説』になつた」
7月 羽田 孝	「人生をやつて、『性善説』になつた」
8月 中野 友雄	「人生をやつて、『性善説』になつた」
9月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
10月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
11月 川上 哲郎	「アジア・関西経済圏を想う」
12月 稲田 献一	「河合栄治郎さんの筋金入りの自由主義に触れた」
1996年1月 稲葉三千男	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
2月 玉川 敏雄	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
3月 玉川 敏雄	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
4月 西岡 武夫	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
5月 松谷健一郎	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
6月 西澤 潤一	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
7月 羽田 孝	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
8月 中野 友雄	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
9月 川上 哲郎	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
10月 中野 友雄	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
11月 川上 哲郎	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
12月 稲田 献一	「河合栄治郎さんの筋金入りの『怠け者』が歩いた数学から成り行きに任せた勇気」
1997年1月 稲葉三千男	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
2月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
3月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
4月 西岡 武夫	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
5月 松谷健一郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
6月 西澤 潤一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
7月 羽田 孝	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
8月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
9月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
10月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
11月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
12月 稲田 献一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
1998年1月 稲葉三千男	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
2月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
3月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
4月 西岡 武夫	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
5月 松谷健一郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
6月 西澤 潤一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
7月 羽田 孝	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
8月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
9月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
10月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
11月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
12月 稲田 献一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
1999年1月 稲葉三千男	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
2月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
3月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
4月 西岡 武夫	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
5月 松谷健一郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
6月 西澤 潤一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
7月 羽田 孝	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
8月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
9月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
10月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
11月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
12月 稲田 献一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
2000年1月 稲葉三千男	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
2月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
3月 玉川 敏雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
4月 西岡 武夫	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
5月 松谷健一郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
6月 西澤 潤一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
7月 羽田 孝	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
8月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
9月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
10月 中野 友雄	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
11月 川上 哲郎	「君子財を愛す、これをとるに道あり」
12月 稲田 献一	「君子財を愛す、これをとるに道あり」

1998年1月	趙 治勲	「変化図」の多い人生を味わいたい
2月	藤田紘一郎	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
3月	小柴 昌俊	生まれて一秒後の宇宙を観測する警鐘
4月	ちばてつや	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
5月	春風亭柳昇	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
6月	大林 太良	「寄生虫博士が鳴らす日本人へ生まれて一秒後の宇宙を観測する警鐘」
7月	河上 和雄	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
8月	中村 紘子	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
9月	松野 賴三	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
10月	鳥海 嶽	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
11月	羽田 澄子	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
12月	丹羽宇一郎	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
2002年1月	都留 重人	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
3月	竹内 均	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
4月	片山 豊	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
5月	日沼 賴夫	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
6月	三遊亭金馬	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
7月	子安美知子	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
8月	青木 淳一	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
9月	河合 隼雄	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
10月	中村 桂子	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
11月	觀世 肇夫	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
12月	小泉 武夫	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
2003年1月	森 浩一	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
2月	大田 昌秀	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」

—戦後の人生を決めた沖縄戦体験

2月	藤田紘一郎	「始人に戻ろう」
3月	小柴 昌俊	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
4月	ちばてつや	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
5月	春風亭柳昇	「寄生虫博士が鳴らす日本人への夢」
6月	大林 太良	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
7月	河上 和雄	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
8月	中村 紘子	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
9月	松野 賴三	「大三冠棋士が求め続ける囲碁の道」
10月	鳥海 嶽	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
11月	羽田 澄子	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
12月	丹羽宇一郎	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
2002年1月	都留 重人	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
3月	竹内 均	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
4月	片山 豊	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
5月	日沼 賴夫	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
6月	三遊亭金馬	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
7月	子安美知子	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
8月	青木 淳一	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
9月	河合 隼雄	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
10月	中村 桂子	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
11月	觀世 肇夫	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
12月	小泉 武夫	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
2003年1月	森 浩一	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」
2月	大田 昌秀	「ニユートリノ天文学の創始者の夢」

—人生のベースは小学生までに

3月	宮崎 勇	「人生のベースは小学生までに」
4月	安野 光雅	「鏡は空想のための装置」
5月	小平 桂一	「人生のベースは小学生までに」
6月	福原 義春	「本経済史」
7月	多田 富雄	「軍縮派エコノミストの戦後日」
8月	奥本大三郎	「大望遠鏡計画にかけた天文学」
9月	小林 達雄	「人生のベースは小学生までに」
10月	尾本 恵市	「つられた宇宙を見て見る」
11月	樋口 陽一	「大望遠鏡計画にかけた天文学」
12月	海部 宣男	「人生のベースは小学生までに」
2000年1月	江崎玲於奈	「虫に学ぶ」
2月	常盤 文克	「骨精神」
3月	清家 清	「祖父以来のリベラリズムと反
4月	奥本大三郎	「免疫自己・生命」
5月	多田 富雄	「超システム」が持つ美しさ
6月	福原 義春	「虫に学ぶ」
7月	多田 富雄	「虫に学ぶ」
8月	奥本大三郎	「虫に学ぶ」
9月	江崎玲於奈	「虫に学ぶ」
10月	常盤 文克	「虫に学ぶ」
11月	清家 清	「虫に学ぶ」
12月	江崎玲於奈	「虫に学ぶ」
2001年1月	中坊 公平	「虫に学ぶ」
2月	藤原 正彦	「虫に学ぶ」
3月	原 健三郎	「虫に学ぶ」
4月	黒木 靖夫	「虫に学ぶ」
5月	五代 富文	「虫に学ぶ」
6月	田中 秀征	「虫に学ぶ」
7月	岡田 英弘	「虫に学ぶ」
8月	杉山 幸丸	「虫に学ぶ」
9月	鷲尾 悅也	「虫に学ぶ」
10月	田中 秀征	「虫に学ぶ」
11月	岡田 英弘	「虫に学ぶ」
12月	杉山 幸丸	「虫に学ぶ」
2001年1月	武村 正義	「虫に学ぶ」
2月	佐藤 勝彦	「虫に学ぶ」
3月	太田 朋子	「虫に学ぶ」
4月	愛川 鈴也	「虫に学ぶ」
5月	山極 寿一	「虫に学ぶ」
6月	岩國 哲人	「虫に学ぶ」
7月	青柳 正規	「虫に学ぶ」
8月	団 まりな	「虫に学ぶ」
9月	堀井令以知	「虫に学ぶ」
10月	小中陽太郎	「虫に学ぶ」
11月	林 雄二郎	「虫に学ぶ」
12月	河合 雅雄	「虫に学ぶ」
2004年1月	村山 雅美	「虫に学ぶ」
2月	加藤 丈夫	「虫に学ぶ」
3月	河合 雅雄	「虫に学ぶ」
4月	上田トシコ	「虫に学ぶ」

—人生のベースは小学生までに

5月	上田トシコ	「虫に学ぶ」
6月	ゲブハルト・ヒールシャー	「虫に学ぶ」
7月	上田トシコ	「虫に学ぶ」
8月	河合 雅雄	「虫に学ぶ」
9月	青木 淳一	「虫に学ぶ」
10月	中村 桂子	「虫に学ぶ」
11月	觀世 肇夫	「虫に学ぶ」
12月	小泉 武夫	「虫に学ぶ」
2005年1月	河岡 義裕	「虫に学ぶ」
2月	富脇 昭	「虫に学ぶ」
3月	宮原 謙一	「虫に学ぶ」
4月	鶴見 俊輔	「虫に学ぶ」
5月	日沼 賴夫	「虫に学ぶ」
6月	三遊亭金馬	「虫に学ぶ」
7月	子安美知子	「虫に学ぶ」
8月	青木 淳一	「虫に学ぶ」
9月	河合 隼雄	「虫に学ぶ」
10月	中村 桂子	「虫に学ぶ」
11月	觀世 肇夫	「虫に学ぶ」
12月	小泉 武夫	「虫に学ぶ」

—人生のベースは小学生までに

1月	桂 文治	「お構いなく」
2月	伊谷純一郎	「心」「社会」「進化」
3月	小林 達雄	「心」「社会」「進化」
4月	安野 光雅	「心」「社会」「進化」
5月	小平 桂一	「心」「社会」「進化」
6月	福原 義春	「心」「社会」「進化」
7月	多田 富雄	「心」「社会」「進化」
8月	奥本大三郎	「心」「社会」「進化」
9月	小林 達雄	「心」「社会」「進化」
10月	尾本 恵市	「心」「社会」「進化」
11月	樋口 陽一	「心」「社会」「進化」
12月	海部 宣男	「心」「社会」「進化」
2001年1月	村山 富市	「心」「社会」「進化」
2月	村上陽一郎	「心」「社会」「進化」
3月	大竹 省二	「心」「社会」「進化」
4月	花房秀三郎	「心」「社会」「進化」
5月	五代 富文	「心」「社会」「進化」
6月	田中 秀征	「心」「社会」「進化」
7月	岡田 英弘	「心」「社会」「進化」
8月	杉山 幸丸	「心」「社会」「進化」
9月	鷲尾 悅也	「心」「社会」「進化」
10月	田中 秀征	「心」「社会」「進化」
11月	岡田 英弘	「心」「社会」「進化」
12月	杉山 幸丸	「心」「社会」「進化」
2001年1月	武村 正義	「心」「社会」「進化」
2月	佐藤 勝彦	「心」「社会」「進化」
3月	太田 朋子	「心」「社会」「進化」
4月	愛川 鈴也	「心」「社会」「進化」
5月	山極 寿一	「心」「社会」「進化」
6月	岩國 哲人	「心」「社会」「進化」
7月	青柳 正規	「心」「社会」「進化」
8月	団 まりな	「心」「社会」「進化」
9月	堀井令以知	「心」「社会」「進化」
10月	小中陽太郎	「心」「社会」「進化」
11月	林 雄二郎	「心」「社会」「進化」
12月	河合 雅雄	「心」「社会」「進化」
2004年1月	村山 雅美	「心」「社会」「進化」
2月	加藤 丈夫	「心」「社会」「進化」
3月	河合 雅雄	「心」「社会」「進化」
4月	上田トシコ	「心」「社会」「進化」
5月	山内 一也	「心」「社会」「進化」
6月	ゲブハルト・ヒールシャー	「心」「社会」「進化」
7月	上田トシコ	「心」「社会」「進化」
8月	河合 雅雄	「心」「社会」「進化」
9月	青木 淳一	「心」「社会」「進化」
10月	中村 桂子	「心」「社会」「進化」
11月	觀世 肇夫	「心」「社会」「進化」
12月	小泉 武夫	「心」「社会」「進化」
2005年1月	河岡 義裕	「心」「社会」「進化」
2月	富脇 昭	「心」「社会」「進化」
3月	宮原 謙一	「心」「社会」「進化」
4月	鶴見 俊輔	「心」「社会」「進化」
5月	日沼 賴夫	「心」「社会」「進化」
6月	三遊亭金馬	「心」「社会」「進化」
7月	子安美知子	「心」「社会」「進化」
8月	青木 淳一	「心」「社会」「進化」
9月	河合 隼雄	「心」「社会」「進化」
10月	中村 桂子	「心」「社会」「進化」
11月	觀世 肇夫	「心」「社会」「進化」
12月	小泉 武夫	「心」「社会」「進化」

—人生のベースは小学生までに

1月	桂 文治	「江戸言葉を伝える」最後の瞬間
2月	伊谷純一郎	「心」「社会」「進化」
3月	小林 達雄	「心」「社会」「進化」
4月	安野 光雅	「心」「社会」「進化」
5月	小平 桂一	「心」「社会」「進化」
6月	福原 義春	「心」「社会」「進化」
7月	多田 富雄	「心」「社会」「進化」
8月	奥本大三郎	「心」「社会」「進化」
9月	小林 達雄	「心」「社会」「進化」
10月	尾本 恵市	「心」「社会」「進化」
11月	樋口 陽一	「心」「社会」「進化」
12月	海部 宣男	「心」「社会」「進化」
2001年1月	村山 富市	「心」「社会」「進化」
2月	村上陽一郎	「心」「社会」「進化」
3月	大竹 省二	「心」「社会」「進化」
4月	花房秀三郎	「心」「社会」「進化」
5月	五代 富文	「心」「社会」「進化」
6月	田中 秀征	「心」「社会」「進化」
7月	岡田 英弘	「心」「社会」「進化」
8月	杉山 幸丸	「心」「社会」「進化」
9月		

私の生き方

2014年1月	石毛直道	世界の極限環境で探る生命史	ラミダスの犬歯
2月	明石康	「チンパンジー」という時間	「化石が語る人類進化の真実」「哲学」の正体
3月	北里洋	「析る平和」から「創る平和」へ	「ハイデガー」が読みたくて
4月	松井孝典	「島国史觀を超えて」	全体をつかむ
11月	杉田昭栄	「宇宙百三十八億年の歴史のリアリティ」	「失敗学の原点と働く人たちへのメッセージ」
10月	横文彦	「小蝦塩辛ペーストの謎」	光触媒をめぐる不思議な縁
8月	小林研一郎	「食の文化人類学者が歩いた	眼のない虫」の不思議
6月	塚本勝巳	「地図にない山をめざす」	洞窟動物はどこから来たか?
4月	川口淳一郎	「オレ、50年早過ぎたんだ」	二人の師に導かれた私の経済学
7月	久里洋二	「大人アニメの草分け」	福祉に還る
5月	梯郁太郎	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	「知事をやめてよかつた」
3月	秦郁彦	「ウナギの謎を追う」	理由
4月	6月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	朝河平和学の地下水脈をたどる
11月	長谷川博	「アホウドリに会いに行く」	大人を信じちゃいけない
10月	坂村健	「T TORONからユビキタスへ」	オーロラの謎に挑む
9月	西江雅之	「クラリネットと進駐軍」	「三國格付け」の視点
7月	12月	「裸足の文化人類学者、ソマリアに立つ」	「北極圏の自然と地球温暖化
8月	外山雄三	「落語とジャズと進駐軍」	「音楽とゲームが好きでドラクエ」
9月	宮田秀明	「「柏戸関は泣いてましたよ」」	「日本経済は転換を求められて
11月	1月	「歌う生物学者」の隅っここの思想	いる
10月	本川達雄	「絶滅の危機を救つた秘策」	まなじりを決した都市計画
9月	1月	「電子楽器開発五十年」	「斜めに世の中を見る」
2月	縞貫民輔	「良きライバルとの出会い」	「21世紀の『まほろば』」
3月	3月	「雪に打ち勝つ」	「ヒートアイランダ」からの更生
4月	6月	「マイナスをプラスに変える富山人」	「ミウラ折り」の発想の原点
11月	9月	「歴史家に職人精神を製造から創造へ」	日本の音楽を作るために
10月	1月	「はやぶさ」を継ぐもの	「オペラと民謡と指揮者修行」
8月	1月	「電子楽器開発五十年」	「1%未満の差を競う」
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	「アメリア・カズ・カツプから学んだこと」
4月	6月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
11月	9月	「大人アニメの草分け」	
10月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
8月	1月	「ウナギの謎を追う」	
6月	3月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4月	6月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
11月	9月	「ウナギの謎を追う」	
10月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
8月	1月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
6月	3月	「ウナギの謎を追う」	
4月	6月	「大人アニメの草分け」	
11月	9月	「ヒューマンなモダニズム建築のために」	
10月	1月	「ウナギの謎を追う」	
8月	1月	「オレ、50年早過ぎたんだ」	
6月	3月	「大人アニメの草分け」	
4			

2016年1月	古市 剛史	高橋 三保子	藤森 照信	野村 萬	君原 健二	2010年1月	吉村 絵美留	クジラの海洋牧場	2009年1月	佐川 真人	北川 正恭	マーラー・ピーラー・直線	2008年1月	河上 民雄	岡野俊一郎
2月	向井 千秋	佐々淳行	喜憲	3月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3月	坂 茂	鈴木 雅明	光男	4月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
4月	桂 伊藤	大塚 初重	福岡 正夫	5月	5月	6月	6月	7月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
5月	橋本 歌丸	北村 義浩	岩佐 美代子	6月	6月	7月	7月	8月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
6月	周司 隆	泰一 喜憲	永井 喜憲	7月	7月	8月	8月	9月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
7月		鈴木 雅明	日本発「ドローンOS」を世界標準に	8月		9月	9月	10月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
8月		光男	「年縞」は地球の遺伝子	9月		日本発「ドローンOS」を世界標準に	10月	君原 健二	マラソンランナーの真の栄光とは?	11月	宇津木妙子	「そこにあるもの」撮り続ける	12月	遠藤 章	吉村 絵美留
9月		ゲーム理論は「言葉」である	国家危機管理のDNA	10月	宮本 文昭	変容つづける団塊音楽家の物語	11月	亀渕 昭信	CEOの孤独と企業統治	1月	大隅 清治	クジラの登呂遺跡	2月	坂田 明	吉村 絵美留
10月		思索せよ、そして謙虛であれ	レンガ模様のバッハの旋律	11月	立木 義浩	「二度の撃沈を生き延びて	12月	岩佐 美代子	山とスキーと財政学	3月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	3月	坂田 明	吉村 絵美留
11月		大平正芳に学んだ未来への視点	エゴイズムを持つのだろう	12月	北村 泰一	誤解されているブラザ合意	1月	高谷 正重	非連続の飛躍	4月	北川 正恭	マーラー・ピーラー・直線	4月	坂田 明	吉村 絵美留
12月		「心を持ったロボット」をめざす	もう宇宙飛行は特別じやない	1月	鈴木 雅明	「そこにあるもの」撮り続ける	2月	大塚 初重	コ五輪銀メダリスト	5月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	5月	坂田 明	吉村 絵美留
1月		史料に昭和を語らせる	エゴイズムを持つのだろう	2月	野波 喜憲	昭和基地は極楽だった	3月	永井 喜憲	正統派経済学の矜持	6月	高川 順造	マーラー・ピーラー・直線	6月	坂田 明	吉村 絵美留
2月		俺は落語以外何もできない	時代に影響されない建築をつくる	3月	鈴木 雅明	科学には女性のほうが向いて	4月	鈴木 雅明	青春の登呂遺跡	7月	茅陽一	マーラー・ピーラー・直線	7月	坂田 明	吉村 絵美留
3月		「心を持ったロボット」をめざす	標準に	4月	野村 萬	変容つづける団塊音楽家の物語	5月	鈴木 雅明	「そこにあるもの」撮り続ける	8月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	8月	坂田 明	吉村 絵美留
4月			ゾウリムシを夢中で追いかけて	5月	君原 健二	「オーボエ奏者から指揮者へ	6月	北村 泰一	昭和基地は極楽だった	9月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	9月	坂田 明	吉村 絵美留
5月			国家危機管理のDNA	6月	吉村 絵美留	ソフツボールをメジャード	7月	鈴木 雅明	科学には女性のほうが向いて	10月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	10月	坂田 明	吉村 絵美留
6月			思索せよ、そして謙虛であれ	7月	吉村 絵美留	「最後は自分」という覚悟	8月	鈴木 雅明	「そこにあるもの」撮り続ける	11月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	11月	坂田 明	吉村 絵美留
7月			大平正芳に学んだ未来への	8月	吉村 絵美留	「二度の撃沈を生き延びて	9月	鈴木 雅明	昭和基地は極楽だった	12月	佐川 真人	マーラー・ピーラー・直線	12月	坂田 明	吉村 絵美留
8月			視点	9月	吉村 絵美留	誤解されているブラザ合意	10月	吉村 絵美留	科学には女性のほうが向いて	1月	吉村 絵美留	クジラの登呂遺跡	1月	吉村 絵美留	吉村 絵美留
9月			「心を持ったロボット」をめざす	10月	吉村 絵美留	「最後は自分」という覚悟	11月	吉村 絵美留	「そこにあるもの」撮り続ける	2月	吉村 絵美留	クジラの登呂遺跡	2月	吉村 絵美留	吉村 絵美留
10月				11月	吉村 絵美留	「二度の撃沈を生き延びて	12月	吉村 絵美留	昭和基地は極楽だった	3月	吉村 絵美留	クジラの登呂遺跡	3月	吉村 絵美留	吉村 絵美留
11月				1月	吉村 絵美留	誤解されているブラザ合意	2月	吉村 絵美留	科学には女性のほうが向いて	4月	吉村 絵美留	クジラの登呂遺跡	4月	吉村 絵美留	吉村 絵美留
12月				2月	吉村 絵美留	「最後は自分」という覚悟	3月	吉村 絵美留	「そこにあるもの」撮り続ける	5月	吉村 絵美留	クジラの登呂遺跡	5月	吉村 絵美留	吉村 絵美留

2018年7月	福田 錦江	2018年12月	深町眞理子	7月	柳沢 正史	2012年1月	富田 索	12月	アルフォンス・デーケン
8月	康夫	1月	豊田 有恒	8月	大田 弘	2月	樺山 純一	1月	「死の哲学」は「生の哲学」
9月	秀穂	10月	小倉 和夫	9月	山田 満知子	3月	谷内正太郎	1月	「死の哲学」は「生の哲学」
10月	正弘	11月	石飛 幸三	10月	岡ノ谷一夫	4月	小松 一憲	2月	「死の哲学」は「生の哲学」
11月	英公	12月	竹内 敬介	11月	葛西 敬之	5月	青木 功	3月	「死の哲学」は「生の哲学」
12月			野口 健	12月	田中 隆	6月	遠藤 誉	4月	「死の哲学」は「生の哲学」
			乗京 正弘	2月	田中 哲二	7月	岡井 隆	5月	「死の哲学」は「生の哲学」
			西森 敬介	3月	篠田 謙一	8月	青木 功	6月	「死の哲学」は「生の哲学」
			3月	7月	6月	9月	9月	7月	「死の哲学」は「生の哲学」
			5月	春成 秀爾	6月	5月	8月	10月	12月
			4月	秀穂	5月	4月	3月	2月	1月
			3月	正弘	4月	5月	6月	7月	8月
			2月	英公	3月	2月	1月	12月	1月
			1月						

6月	増田 明美	長瀧 重義
7月	宮川眞喜雄	土木技術者は地球の医者である 「佐久間ダム記録映画」が導いた コンクリート研究者の道
8月	佐々木 敏滋	「人は前に進みたい生き物」 オリンピックでつまずいて、 それでも走り続けた私の話
9月	近藤 一子	宇宙工学から転じた外交官 蝶と旅が導いた栄養疫学の世界
10月	小池 洋子	波が描く生命の形 誰も信じなかつた竊模様の謎解き
11月	森下 知英	アートと社会に架けた橋 現代に向き合い創造したオルタナティブな文化 平和 真の美しさを引き出す力 すべてはバレエから 電力会社の社長になつた 生意気な文学青年の歩み
12月	苅田	

5月	上野千鶴子	社会学は死ぬまでの極道 ——弱さに寄り添うエビデンスと 理論を
6月	古賀 誠	おふくろのような戦争未亡人を 再びこの国では絶対に出さない 佐渡島の連絡船から見たイルカ の飛翔
7月	宮田 亮平	「授業ボイコット」が導いた免 疫の世界
8月	宮坂 昌之	宇宙誕生の音に耳を澄ます
9月	杉山 直	偶然だった——親分肌の翻訳家 が大学の学長になるまでの物語
10月	木村 榮一	十勝の牧場で決めた建設業への 道と曾祖父が残した教訓
11月	奥村太加典	「成長・進化」絶えず変化する ことで人も組織も強くなる
12月	久和 進	一途に「面白主義」！ 新しい芸術の見方と――という発見
年 1月	南 伸坊	

9月	島	泰三	アイアイの不思議な指全其闘
10月	西垣	通	A.I時代における文理融合のす
11月	西村京太郎	龍男	陸軍幼年学校で過ごした5ヵ月
12月	村上	由臣	国民的ミステリー作家の原点
2020年1月	高木	由臣	クラゲ館長の「夢の水族館」
2月	梶田	隆章	ゾウリムシ研究でたどりついた
3月	不死原正文		「私の生命観」
4月	井上たかひこ		神岡は私の研究人生のすべて
5月	森本	敏	来ないエレベーターが結んだ縁
6月	宮本	雅文	環境循環社会の中心にセメント
7月	島飼玖美子		ト産業がある
8月	宗	猛	水中考古学がひらく「海のタ
9月	小松	正之	イムカペセル」
10月	石澤	良昭	安全保障の仕事に一生をかける
11月	加藤	寛幸	人、出でよ
12月	平野	レミ	山の鳴き声に耳を傾ける
2020年1月	北村		アボロ11号月面着陸から英語教育へ
2月	水野		それでも走るのが好きだったた
3月	高村	雅良	「三度目に掴んだオリンピックの舞台
4月	伊東	和敏	日本捕鯨・タフネゴシエーターの志
5月	斎藤		アノコール・ワットをカンボジア人の手に
6月	加藤		「遺跡修復とグローバル人材育成
			」
			僕を「国境なき医師団」に導いた二つの出会い
			キッキンから幸せ発信
			僕の原点になつた「竹原火力3号機」立地交渉
			「ミスターGT-R」の非常識な本質
			ひとの幸せの総量を増やす
			「外交・安保が私のライフワーク」
			喜劇を演じることはとても怖い
			んです
			野球が導いた外交官の道
			学問はひとつ
			ヤボネシアゲノムが解明する

7月	ア刀田 高	私は小説家には向いていなか った
8月	富野由悠季	ガンダム監督の「敗北者宣言」
9月	妹島 和世	創造性の連続が起こる建築
10月	土井 正博	「18歳の4番打者」が辿り着いた バッティングの極意
11月	海部 陽介	3万年前の航海再現で迫る「人 間の本当の姿」
12月	水村 美苗	私は近代日本文学の最後に来 た者
2021年1月	水野 英子	青春のトキワ荘と私の漫画家人生
2月	伊部 菊雄	たった一行の提案書が生んだ 「G-SHOCK」
3月	吉増 剛造	詩の声に耳をします
4月	今野 勉	朝から晩までテレビのことを考 えてきた
5月	三宅 義信	「自分流」でつかんだ金メダル 東京五輪に向けた1460日の挑戦
6月	石野 良純	奇妙な繰り返し配列クリスピーパー の謎
7月	阿川 尚之	人との出会い、アメリカとの出 会い、憲法との出会い
8月	三國 清三	日本人としてつくる僕のフラン ス料理
9月	未唯 mie	山と谷を乗り越えて、今の私が ある 「ピック・レディー」 はかけがえのない経験
10月	片山 右京	僕はF1で得たものばかりで 失つたものは何一つなかつた 朝の来ない夜はない
11月	海輪 誠	東日本大震災を乗り越える 運慶に会いに行く
12月	山本 井手 伊吹 文明	硬球をバットで打つあの感触 からはじまつた
2022年1月	佐々木 勉	東大野球部からドラゴンズへ 東大総長になつた牛飼いの少年 政治制度改革の舞台裏
2月	若宮 正子	社会に役立つロボットの創造開 発
3月	佐々木 穀	私は80歳から成長した 「英知」という翼を持つた世
4月	広瀬 茂男	界最高令グラマ
5月	若宮 正子	

6月	蛭山 雅子	能收取の生き方に学ぶ
7月	帰山 美子	サケの生き方に学ぶ
8月	橋本久美子	総理夫人の愛の讃歌
9月	猪熊 兼勝	何がキトラ古墳の壁画を今に伝えたのか？
10月	石倉 洋子	誰がグレートリセットをするのか？
11月	千葉 昭正	「公益の心」を大切に
12月	山本 正之	デビューカーペットは自分への応援歌だった
2023年1月	長塚 京三	「タイムボカン」は私の宝物
2月	永田 和宏	フランスより、誰も見たことのない景色を求めて
3月	橋爪大三郎	恋と短歌とタンバク質
4月	片山 一道	—私の人生のいちばんの意味は？
5月	戸田奈津子	知識と知識の隙間をなくす
6月	横尾 忠則	「大きな社会学」のすすめ
7月	佐藤 義則	古人骨が語る声を聴く
8月	大島 理森	人類学者が辿ったボリネシアの「海の道」
9月	宇崎 竜童	夢を信じた20年の軌跡
10月	原 昌宏	我々は、答えない世界に住んでいる
11月	S A M	「日本一の投手コーチ」の原点
12月	眞弓 明彦	となつた一ヵ月の猛特訓
2024年1月	林家木久扇	人間も國も生かされて生きている—国会を知り尽くした政治家が語る民主主義の原点
2月	谷川俊太郎	校庭で流れた「ブレスリー」—ロックンロールの先駆者が語る50年目の新境地
3月	谷川 浩司	カイゼンから生まれた「QRコード」
4月	加賀美幸子	ダンスに捧げたあの日々を
		デイスコからトップへ
		北海道の発展に尽力する
		好きな言葉は「入金」と「売上」です
		—落語と漫画と木久扇ラーメン
		詩は動いている
		「無冠の九段」になつてから見えた将棋のおもしろさ
		どう生きようか、生きようぞ

12月	「危機の時代」の宰相の条件 件——中曾根外交で対米・ 歐摩擦は乗り切れるか	斎藤 明
1月	いま日本はソ連の「脅威」 になりつつある 「ソ連・和解」の内幕とその後の 世界	M・エフイーモフ 白井久也 魚本藤久 吉田健三 丹藤佳紀 大月信次
2月	首相官邸レポート 政局展望・中曾根政権の「躊躇」	中田章 石原
3月	イスラエルからの証言 今見えてきたパレスチナ 「共存の地平線」	A・ジクローニ 広河ルテ 清水学 松岡英夫 岡野加穂留
4月	「無党派時代」への不安 ——いま国民が「革新」に求めて いるもの	不破孝一 小金芳弘 石川賢治 加茂雄三 中道正樹 宇都宮徳馬 稻葉修 前田優 泰彦 福島光丘 北村文夫
5月	シミュレーション21世紀への予言 ——技術革新は人類に何をもたらすか？	J・ルスールヌ レーガン・シンドローム 中米・カリブ海「危機の実相」 を読む 「甦る政治」の条件 ——この秋、与野党に起きること
6月	米国「アジア外交」の逆説 ——アキノ暗殺と民主主義 のゆくえ	G・オーネタウスキー O・フェルドマン アリフィン・ベイ 斧泰彦 稻葉修 前田優 青木日出雄 石川賢治 加茂雄三 中道正樹 宇都宮徳馬 稻葉修 前田優 泰彦 福島光丘 北村文夫
7月	極東でいま何が起きているか？ ——米ソ「見える戦い」の実態 「第四次中東戦争」の暗雲 ——緊迫するレバノン情勢を 読む	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
8月	問われる日本の国際的役割 「軍拡」と「経済協力」の分岐点 ——世界情勢は今年こう動く ——米国の誤解と日本の甘さ	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
9月	道の「矛盾」と「責任」 が衝く日本の新聞報道 ——米ソ「見えざる戦い」の実態 ——第四次中東戦争の暗雲 ——緊迫するレバノン情勢を 読む	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
10月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
11月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
12月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
1月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
2月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
3月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎
1984年1月	——	伊藤光彦 林雄一郎 森本良男 進藤榮一 村上吉男 溝口道郎

4月	体験的「日中経済 新時代への模索」—日本企業人の見た中国対外開放政策	野村清洋
5月	「浸食」から「崩壊」への構図—地球表土流亡と森林死滅	石田錠二
6月	レーヴン ^ク の打開策—中米・カリブ戦略の行方—浅田駐グアテマラ大使と谷川中米特派員聞く	小田川圭三 浅田泰三
7月	知日派学者との対話—G.R.バッカード「日米ギャップ」をどうする	L.R.ブラウン 小島慶三
8月	—米大統領選と対日経済・防衛政策	古森義久
9月	38度線「危機と共存」の回路	俊之
10月	朝鮮半島をめぐる米中ソの思惑を読む	谷川道宣
11月	保守政治の「ラック・ボックス」—自民党の収票メカニズムとその未来を分析する	岡野加穂留
12月	「東西冷戦構造」に異変あり！—欧洲の米国離れとそのジレンマ	広瀬道直
1月	八五年ニッポンの「政変」を占う	不二
2月	—解散は中曾根首相の命取りに	吉野文六
3月	クレムリンの新しい対日戦略を読む—85年グロムイコ訪日シンジリオ	伊藤光彦
4月	「太平洋の世紀」はバラ色か？—新構想がはらむ危機と連帶の未来	田村元
5月	SDIイコール「スター・ウォーズ」ではない—レーヴン「戦略防衛構想」を検証する	斎藤明
6月	クレムリン・ウォッチャヤーが見たゴルバチョフ・ソ連の明と暗	桜内義雄
7月	「世代交代」は時代の流れだ	下村満子
8月	大河原前駐米大使に聞くワシントンでいま何が起こって	麻生雍一郎
9月	日本の「国際的孤立主義」が摩擦の原因だ	G.R.バッカード
10月	ゴルバチョフとレーヴンが握手する日	ホルスト小西昭之
11月	中曾根首相の「危険な選択	林雄一郎
12月	大河原良雄	高山智

1977年4月	新々中国からの“伝言”
5月	一九七七年・韓国
6月	“日本への直言”
7月	一九八五年ニッポンの原子力を考える
8月	日米経済人会議から帰つて
9月	カーラー経済外交の行方
10月	アシアからニッポンへの“直言”
11月	殿様の勲章
12月	政治と国民との乖離
1978年1月	「どうにもつながらなくなつたこの関係
2月	失業二〇〇万時代のニッポン心
3月	電図
4月	再建への指標
5月	国鉄は甦るか
6月	若大将“ニッポンの興亡”にチヤレンジ
7月	「公共企業体」の神話と現実
8月	「危機のながの国民のくらし
9月	日・米・E.C.記者の“眼”
10月	がとらえた
11月	世界経済戦争の“内幕”
12月	世界経済戦争への処方箋
1979年1月	役人はハッキリものを言おう
2月	日本は袋小路から脱出でき
3月	るか——外国人企業家が語
4月	る世界貿易戦争への処方箋
5月	人間と裁判
6月	——司法の原点を求めて
7月	公企業の新しい位置づけ
8月	——現在のメリットと矛盾点を洗う
9月	いまソ連は何を考えているか
10月	——大陸と列島の未来図

9月	人間の顔をした経済をつくる
10月	—福田経済採点簿公開 朝日毎日読説責任者の訪中報告
11月	日米貿易戦争の内幕 大統領の「誤算と修正」 「政治」は甦るか 政治化から信頼への道標
12月	1979年1月 79中東戦線異状あり —その国際政治経済のからみを 追う 東南アジアの内幕とニッポン
1月	R·C·エンジニアリング 原康弘 今津弘 下平正一 岸田純之助 大堀弘 西澤憲郎 牟田口義郎 松野頼三 木村俊夫郎 鳥羽嶺次郎 中山一三 太田董 岸田純之助 陸井三郎 法眼 大木正吾 山口敏夫 栗屋敏信 高橋害 中川康 奥原時蔵 野口悠紀雄 坂井定雄 伊藤圭一 本吉庸浩 T·ペッパー T·ペッパー 江幡秀恭 高木文雄 中川秀恭
2月	1980年1月 「財政危機」からの脱出 —増税はホントに必要か? —ソ連はいま何を狙っているか —その世界戦略の方向と実態 OPEC、メジャーワールドの世界戦略 の照準へのし歩く地球の支配者 生活都市創造へのチャレンジ きく 日本病への処方箋 7月 6月 5月 4月 3月 2月
3月	東京で革新の地すべりは 止められるか 米ソの世界戦略と日本
4月	政界病棟から —体质蘇生への手がかりを探る 世界経済の「死角」を洗う —ソ連経済研究所副所長に
5月	—ソ連経済研究所副所長に
6月	—ソ連経済研究所副所長に
7月	—ソ連経済研究所副所長に
8月	—ソ連経済研究所副所長に
9月	—ソ連経済研究所副所長に
10月	—ソ連経済研究所副所長に
11月	—ソ連経済研究所副所長に
12月	—ソ連経済研究所副所長に
1月	—ソ連経済研究所副所長に
2月	—ソ連経済研究所副所長に

3月	80 U.S.A. は甦るか? する 「アラブ湾岸」危機の分析	B・クリツシャー
4月	「石油・パレスチナ・米ソ激突 「危機」の選択 一日米 関係の未来を推論する	陸井 川田 三郎 K・アズハリ 牟田口義郎 細見 卓 築紫 哲也
5月	ドゴールの遺産と ジスカールデスタンの野望	伊藤 力司 L・サルモン 宇都宮徳馬 田中伊三次
6月	権力の「責任」 「多数は正義を約束するか	中尾 光昭 本間 長卅 松岡 英夫 吉原 瑞穂 宇佐美 淳 丹藤 佳紀 高木 文雄 原 実
7月	病める米国の選択 一保守へ の回帰とりーガンの野心 匿名座談会 石油戦争「サバイバル」 「再編の内幕 現場からの証言 ノーモア「傷だらけの山河」 歴史を生かす市民運動へ 「中国国防軍」の実態	中尾 光昭 本間 長卅 松岡 英夫 吉原 瑞穂 宇佐美 淳 丹藤 佳紀 高木 文雄 原 実
8月	1月 レーガン大統領への 期待と不安 2月 ASEAN 同行三紙記者が 日本国総理「裸の外遊記」の 内幕を語る 3月 いま中国で何が起きているか? — 部体制をゆさぶる経済危機と 軍の動向 4月 「日本の選択とジャーナリズム の責務 5月 イラン・イラク戦争の証言① イラクはペルシャの「拡張主義」と 戦う 6月 これはワシントン ハグダッドの陰謀だ!	西澤憲一郎 岩村 鈴木 康雄 立郎 長崎 和夫 松本 章 岡倉 徹志 吉原 瑞穂 宇佐美 淳 丹藤 佳紀 高木 文雄 原 実

1985年10月	「38度線」が消える日	1986年1月	「朝鮮南北対話」の現実と予測
11月	ゴルバチョフの「対日政策」はこう変わる	2月	中曾根外交への注文
12月	「一九八六年の『国際新情報』を貿易戦争 日本人がカリフオルニア米を食う日	3月	英経済ジャーナリストの見た「ソ連最新情報とニア米を食う日」
1月	趙安博氏が語る日中50年秘史	4月	「蘆溝橋」から「宝山」への道程
2月	「フィリピンの最も長い一日」	5月	「反乱前夜、主役たちが語ったこれが現実と未來」
3月	「ソ連会談後のゆくえ」	6月	「フィリピンの選択肢」
4月	「英日経済ジャーナリストの見た「ソ連最新情報とニア米を食う日」	7月	「ソ連の現実と未來」
5月	「中曾根外交への注文」	8月	「これがゴルバチョフ新外交戦略」
6月	「中東政策」の背景を分析する	9月	「米国、日本、フィリピン、L.M.サイモンズの『政治の実情』」
7月	「君たち日本人は頑固だ!」	10月	「C.T.ラトクリフが語る日本経済」
8月	「レーガンはリビア攻撃で何を狙つたか?」	11月	「アーマー第一線ビジネスマンが解説する日本経済」
9月	「日本の民主主義は「幕府型」だ」	12月	「日本の民主主義は「幕府型」だ」
10月	「大勝自民に予測される政治・経済戦略」	1月	「SDIの神話と現実」
11月	「二つの陥穽」	2月	「二つの陥穽」
12月	「米価批判への反証」	3月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
1987年1月	「君たち日本人は頑固だ!」	4月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
2月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	5月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
3月	「中国は再び変わりつつあるか?」	6月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
4月	「政治の「プラック・ホール」を探る」	7月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
5月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	8月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
6月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	9月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
7月	「中東危機」は世界を変えるか?」	10月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
8月	「イスラム・パワリーに火をつけたクウェート紛争のゆくえ」	11月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
9月	「北朝鮮は本当に変わったのか?」	12月	「農産物から「世界恐慌」が始まるトロイカを分析する」
10月	「動き始めた「日朝正常化」の今後を探る」	1988年1月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
11月	「ペレストロイカが失敗したら何が起きるか?」	2月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
12月	「ソ連連邦で進行する「市場経済移行計画」を検証する」	3月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
1989年1月	「廃止か見直しか? 税制改革を考える」	4月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
2月	「ゴルバチョフの「残された選択」	5月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
3月	「トロイカが峰に立つペレス」	6月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「北朝韓の「新・米国防報告」の深層心理を読む」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1990年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「「中東危機」は世界を変えるか?」	3月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1990年1月	「イスラム・パワリーに火をつけたクウェート紛争のゆくえ」	4月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「北朝鮮は本当に変わったのか?」	5月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	6月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「中東危機」は世界を変えるか?」	7月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	8月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「北朝鮮は本当に変わったのか?」	9月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「動き始めた「日朝正常化」の今後を探る」	10月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	11月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	12月	「「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「北朝鮮は本当に変わったのか?」	1991年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「動き始めた「日朝正常化」の今後を探る」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1991年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1992年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1992年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1993年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1993年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1994年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1994年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1995年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1995年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1996年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1996年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1997年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1997年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリーダーが語る21世紀への道」	8月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
6月	「「ポスト冷戦」の時代を読む」	9月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
7月	「21世紀の「世界秩序」と日本の針路」	10月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
8月	「「日米構造協議」で何が問われているか?」	11月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
9月	「苦役」から逃れない日本人現地で見た天安門事件の行方を読む」	12月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
10月	「アジアの「冷戦」はほんとに終わるか?」	1998年1月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
11月	「韓ソ首脳会談と北朝鮮の動向を分析する」	2月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
12月	「ペレストロイカ記者が語る経済・民族の現状と未來」	3月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
1998年1月	「ゴルバチョフの「残された選択」	4月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
2月	「トロイカが峰に立つペレス」	5月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
3月	「日本が峰に立つペレス」	6月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
4月	「日本の政治が変わる日」	7月	「歐州「不戦宣言」と湾岸危機の読み方」
5月	「新・ニユーリ		

2002年4月	対ロシア外交の「ねじれ」 外務省の空白の10年を検証する
5月	「石油ショック」は再来するのか? エネルギー情勢
6月	人脈だけ旅行鞄に入れて 変転する香港、逆戻りする中國
7月	21世紀の「逃散」 「北朝鮮はいまどうなっているか?
8月	長野で起きたことは国でも起る 米国民はこの1年間に何を考えたか? 「不信任騒動と「康夫効果」 アメリカを「再格付け」する 90年代型ビジネスモデルの終焉
9月	民主党の帆柱を立てる 「政権交代は可能なのか? 戦争は始まるか? 「ブッシュ政権」対イラク攻撃」 の背景
10月	二〇〇三年日本の政治と経済 「今年はキナ臭い年になりそうだ 日米関係のリ・ストラクチャリ ング」「北朝鮮というリスクと膨張する中国経済の間で リスクと変わる・国が変わる 改革派知事の限界と統一地方選
11月	「イラク戦争の「後遺症」 「武力攻撃は中東に何をもたらすか? 伊拉克戦争後の国際秩序と日本 の選択
12月	「改革が変わる・国が変わる 宗教に動かされたSARSの「謎」 「問われる日本の感染症対策
2003年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	「安楽死」事件を考える 検証・小泉政権の一九〇〇日 ①規制緩和で失われた公共性 ②「反射神経」から戦略思考へ 「小泉外交の「功罪」を超えて 金正日のバランスシート 「中韓が支える北朝鮮の強気 レバノン戦争の勝者は誰か? 「ヒズボラとイスラエルの誤解
3月	「美しい国」の実像を問う 「北朝鮮の「核」を考える 「思考停止した日本の対朝政策 宗教に動かされた米国の中韓 北朝鮮の「核」を考へる 「生きる力と考える力 ヒトはなぜいじめるのか? 二〇二〇年の世界と東アジア 共同体
4月	「戦略なき日本は孤立する? ほくらと地続きのインド
5月	「限界集落」の默示録 顔の見えない改選内閣「ねじ れ国会の与野党政防を読む アフガニスタンは今?
6月	加藤高明に学ぶ二大政党制への 道
7月	見えない和平 環境問題の真実と幻想
8月	「パレスチナ分断のゆくえ 読・毎・時事政治部長鼎談 「北朝鮮はいまどうなっているか? 米軍撤退後のイラク情勢
9月	日本人船員減少と資源安保
10月	海図なき海洋国日本
11月	日本人船員減少と資源安保
2004年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	「安楽死」事件を考える 検証・小泉政権の一九〇〇日 ①規制緩和で失われた公共性 ②「反射神経」から戦略思考へ 「小泉外交の「功罪」を超えて 金正日のバランスシート 「中韓が支える北朝鮮の強気 レバノン戦争の勝者は誰か? 「ヒズボラとイスラエルの誤解
3月	「イラク戦争の「後遺症」 「武力攻撃は中東に何をもたらすか? 伊拉克戦争後の国際秩序と日本 の選択
4月	「改革が変わる・国が変わる 宗教に動かされたSARSの「謎」 「問われる日本の感染症対策
5月	「安楽死」事件を考える 検証・小泉政権の一九〇〇日 ①規制緩和で失われた公共性 ②「反射神経」から戦略思考へ 「小泉外交の「功罪」を超えて 金正日のバランスシート 「中韓が支える北朝鮮の強気 レバノン戦争の勝者は誰か? 「ヒズボラとイスラエルの誤解
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2005年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2006年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2007年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2008年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2009年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2010年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2011年1月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
2月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
3月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
4月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
5月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
6月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
7月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
8月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
9月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
10月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
11月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量
12月	改めてイラク戦争を考える 命の裁量

2011年6月	「非常時」の経済学
7月	トランプの復興議論に冷感さを転換点を迎えた米国の中東政策
8月	北朝鮮経済の深層
9月	サイバー戦争と日本の危機管理
10月	主権を封印した日本外交
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2012年1月	宇宙政策は国家の「名刺」
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2013年1月	東アジアの国際秩序
2月	独裁国家の仕組み
3月	アメリカと中国のはざまで
4月	アーヴィングの戦略
5月	トランプ政権と米中関係
6月	少子高齢化社会の医療のあり方
7月	中国の宇宙開発に見る
8月	新たなグレートゲーム
9月	エネルギー・ゲームチエンジ
10月	インフラ老朽化問題から構想する新しい暮らし方
11月	日本の漁業復活への道
12月	聖書はどのように書かれたか
2014年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2015年1月	田中浩一郎
2月	人類七〇〇万年の道のり
3月	欧州「新右翼政党」の研究
4月	「アラブの春」で何が変わったか
5月	経済思想は循環する
6月	見えてきた金正恩政権
7月	中国国民党の眞実
8月	「アラブの春」で何が変わったか
9月	見えなくなつた国際秩序
10月	街並みの論理
11月	マルチの海を泳ぐ欧洲人
12月	なぜボイドヤーにバッハが積まれてゐるのか?
2016年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2017年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2018年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2019年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2020年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ
2021年1月	ヒトは日本列島にどうやって来たか
2月	北朝鮮、真の実力者は誰か?
3月	アラブに「春」は来たのか?
4月	悲観論とたたかう
5月	日本経済復活の道
6月	中国の失われた十年
7月	悲観論とたたかう
8月	日本経済復活の道
9月	悲観論とたたかう
10月	中国の失われた十年
11月	「ロシアのねらいと東アジア情勢」基軸通貨はなくなる?
12月	米国後の世界のリーダーシップ

対話	2023年1月	9月	2021年8月
	2023年1月	9月	日本の農地土壤を考える
	11月	11月	カルボンニュートラル論争 何がエネルギー政策の潮流を つくるのか？
	12月	12月	G A F A 時代のメディアとジャーナリズムの現在地點
	1月	1月	抑止力とは何か？
	2月	2月	日本が直面する安全保障環境 「再イデオロギー化」する日本 政治
	3月	3月	死から考える私たちの未来 好奇心を失いつつある日本人 次の超大国インドから見る世 界の秩序
	4月	4月	「レームダック化」不可避のバ デン政権と日本の役割 ①「ブーチンの戦争」が揺らし 世界の秩序
	5月	5月	②人との結びつきはどうあるべき —日本社会を緩めるヒント ジエネラリスト・北陸・エネ ギー・安保
	6月	6月	日本が活力を取り戻すための 持たざる国の戦略—日本のエ ルギー政策100年を辿る
	7月	7月	ウクライナ戦争の戦況収集 から考える「情報」の本質
	8月	8月	降りられる社会・降りられない 社会
	9月	9月	—今の日本を生きる個人の変化 今が最大で最後のチャンス 覚悟を決めた日本の半導体戦 安倍政治の外交・安全保障を 振り返る
	10月	10月	—7年8ヶ月の歴史的意義 コロナ禍で考える飲酒とコミ ニケーション エルサレムで振り返る2022 年の世界 日本人と時間

安岡
松永
穴山
大場
山形
林
本間
高見澤將林
村野
古賀
境家
小林
茂木健一郎
伊藤
榎本
田中洋二郎
中林美恵子
渡部
榎谷
細谷
雄二
奈良聰智
小泉
松沢
小川さやか
滝波
吉崎
恒雄
鈴木
鉢
裕作
一人
宏文
達彦
勉
昇
英德
杉雄
清水唯一
富永
京子
十市
岩瀬
渡邊
高橋
西川
黒田
小野寺五典
高見澤將林
奈良岡聰智
谷口
岩間
池内
飯田
并上
糸谷
和見
忠弘
泰之
毅
陽子
恵
功一
哲郎

2月	若き開拓者たちが考える新たな価値を創造するための「コミュニティ」
3月	「ウクライナ侵攻から1年」 「ブチヤの惨劇」から考える安全保障の本質
4月	植田日銀に課せられた大きな選択
5月	食とワインと音楽の愉しみ —パリでの暮らしが気付いたこと
6月	地球の歴史の見つめ方
7月	京都で考える教養、ユーモア、 地靈、そして友情とは? 「選挙」を中心に考える
8月	権威主義と民主主義のゆくえ
9月	台湾の現在地
10月	韓国の核保有論から考える抑止 のあり方
11月	①繰り返されるハマス・イスラエル衝突 報復の連鎖に潜むパレスチナ問題 ②京都で過ごした氷河期世代
12月	ヨーロッパの東と西、大国と小国 自民党的構造と政党政治のゆくえ 政治改革で見落とされた論点とは? 新時代を迎えるエネルギー環境 何が勝者と敗者を分かつのか? 3月「選挙イヤー」と二つの戦争 民主主義の選択は世界をどこに導くのか? 「制裁」から見た世界 なぜロシアの攻勢は衰えないのか? デモクラシーの起源から考える
1月	時代を超えて考える女性と法 ガザ戦争と中東 アメリカ・イスラエルの「特別な 関係」とバレスチナの将来
2月	心の病の過去と今 三淵嘉子と「虎に翼」 人類学・脳科学から考える
3月	時代を超えて考える女性と法 ガザ戦争と中東 アメリカ・イスラエルの「特別な 関係」とバレスチナの将来

9月	岐路に立つ政党政治 ——日・ラテンアメリカの比較で見る 政治が動く瞬間にについて
10月	トランプと陰謀論政治 ——分断のアメリカ、その先を見据えて
11月	「おひとりさま」時代の保証人制度
12月	「シルバー民主主義脱却」の 糸口を探る
2025年1月	「二つの戦争」と 日本のエネルギー安全保障
2月	花巻から考える 地方の現実、希望と課題
3月	京都の上(かみ)と下(しも) 移民・難民問題を
4月	ロシア・ウクライナ戦争が問う 世界の選択
5月	停戦のゆくえと揺れる米欧 トランプ2・0と気候変動
6月	止まる政策、進む技術 「就職氷河期世代」問題の 本質とは何か?
7月	オールドメディアの現状と ジャーナリズムの行方
8月	この国は子育てに向いているのか
9月	ドイツ・オランダに見る 右翼ポピュリズム政党が 躍進する社会の背景
10月	政党政治の開拓者、原敬に学ぶ 高市政権の行方を探る
11月	政治制度は民意に応えるべきなのか?
12月	境家 清水 唯一 境家 齋藤 健 境家 待鳥 聰史 境家 今井 貴子 境家 史郎